



障がいのある人の雇用に取り組む

# 双葉メンテナンス工業株式会社

(京都市下京区)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】 ビルメンテナンス、ホスピタルメンテナンス、病院・施設サポート業務

【障がいのある人の主な仕事】 受注先での日常清掃、リネン類の脱着など

## 【障がい者雇用の経緯】

11 年程前に慢性的な人手不足の解消を図る一つの可能性として障がい者雇用を検討。特別支援学校でのビルクリーニング授業等を見学して、生徒の技術力の高さに感心し、実習を経て、新卒者を採用したのが障がい者雇用の始まりです。その後は、特別支援学校だけでなく、就労移行支援事業所などからも雇用し、現在、短時間雇用の社員も含めて、13 名の障がい者が働いています。



## 【Oさんに聞きました】

今年で9年目です。高校入学時からビルクリーニングの仕事を考えていました。職場実習での丁寧な教え方や会話の明るさ、広くて圧迫感の無い環境などが、他の実習先より自分に合っていると思いました。

コミュニケーションが苦手で、感覚過敏(音、光、人との接触)がありますが、周りの人に理解していただき助かっています。また、嫌な事を言われた時も、上司や親に相談でき対処していただけるので、長く働けていると思います。

特に鏡を綺麗に拭くのが好きで、「ありがとう」と声を掛けられると嬉しいです。

普段は、映画を観たり、散歩をしたり、家事手伝いなどをしています。将来は、一人暮らしもしたいと思っています。

## 【現場を中心に受入れて】

当初、3～4ヶ月の試用期間中は本社で研修し、現場に配属しました。数年を経て現場がノウハウを蓄積したため、現在は現場で研修等を行っています。入社1ヶ月後の入社式においてアンケートを実施し声を拾います。

指導する側の「人をまとめる力」が大切と考え、月1回、障がい特性の理解やアンガーマネジメントなどの研修を行っています。

一人ひとり、指導する人を固定することで、時間をかけて信頼関係を築き、進捗に合わせて少しずつ出来ることを増やしていくようにしています。10～20名程度の現場に、1～2名の障がいのある人を配置して、日常的にも様子が分かるようにしています。

音に過敏な社員は音の少ない現場へ、など特性に合わせた配置転換をする場合もあります。

現場を中心に受入れたことで、誰でも受入れ教えられる力が現場に備わってきました。



令和3年 11 月取材